

Agilent InfinityLab Pro iQ 質量検出器

“Pro”の力を引き出すルーチン分析向け次世代 LC 質量検出器

ルーチンワークフローに、より高い信頼性と安心感を

研究、開発、製造など、変化が激しい環境では、正確な情報をタイムリーに入手することが重要です。ラボは、日々の分析ニーズに確実に対応できる、堅牢で柔軟性の高い機器を必要としています。

Agilent InfinityLab Pro iQ シングル四重極質量検出器は Agilent Infinity III LC シリーズや Agilent OpenLab CDS とシームレスに統合できるため、分子量確認を効率化して高品質な分析結果を取得し、ルーチン分析を改善できます。Pro iQ は、分子量確認を UV 検出と同じくらい容易に実行できます。必要な分析結果を少ない労力で取得できます。

生産性を支えるパフォーマンス

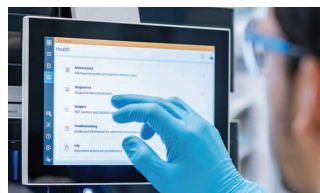
医薬品、食品、環境、化学材料のラボに最適

Pro iQ 質量検出器は高速スキャン、広い質量範囲、超高感度という特長を備えており、生産性を重視して設計されています。LC 機器と簡単に積み重ねられるため、設置面積が少なく済みます。アップグレード可能なイオン源が豊富に用意されており、アプリケーションに最適なものを柔軟に選択できます。またスタンバイモードやエネルギー効率の高いオイルフリーポンプ(オプション)など、持続可能性に優れた機能により、ラボの効率を高められます。



質量範囲	m/z 2~1,600
感度*	< 70 fg
検出	ルーチン
アプリケーション: 分子量確認 不純物検出 マスベースの分取精製	

* 機器検出下限 (IDL)



InfinityLab Assist

対話型のタッチスクリーンにシステム状態のモニタリング結果を表示

インテリジェンス

ワークフロー支援による効率向上

性能

少ない手間で最大限の結果を実現

信頼性

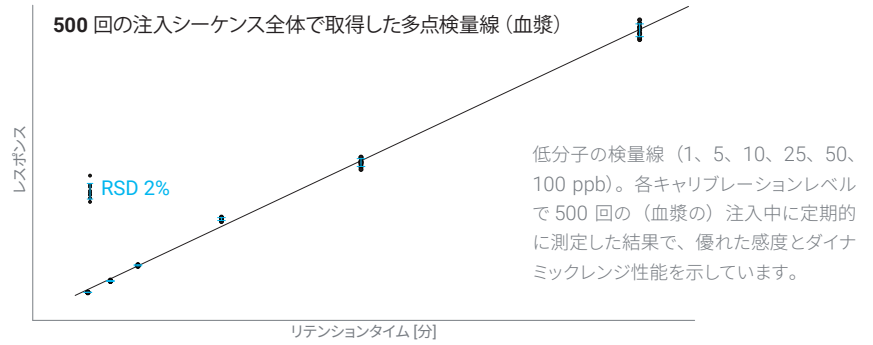
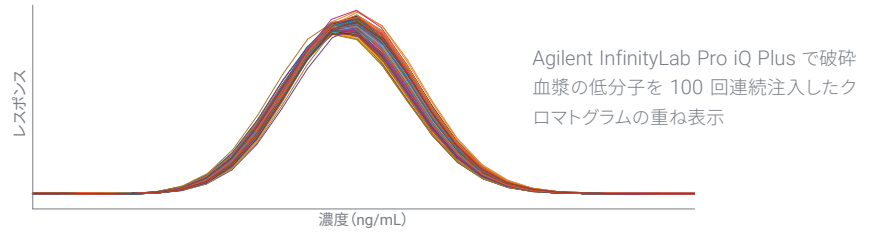
確信を持って前進

Agilent
InfinityLab



かつてない堅牢性、一貫性の高い分析結果

さまざまなアプリケーションで一貫した性能と安定性を確保できます。



分取精製ワークフローの改善による効率と精度の大幅な向上

次世代の MBFC でサンプルの LC 分離と精製を最新化

質量ベースのフラクションコレクション (MBFC) ワークフローで優れた純度と高い回収率を実現します。マルチトリガフラクションコレクションと超高速極性切り替えにより、ラボの生産性が向上します。このシステムは、すべての付加体の 4 つ以上の MS トリガーと UV に対応しています。

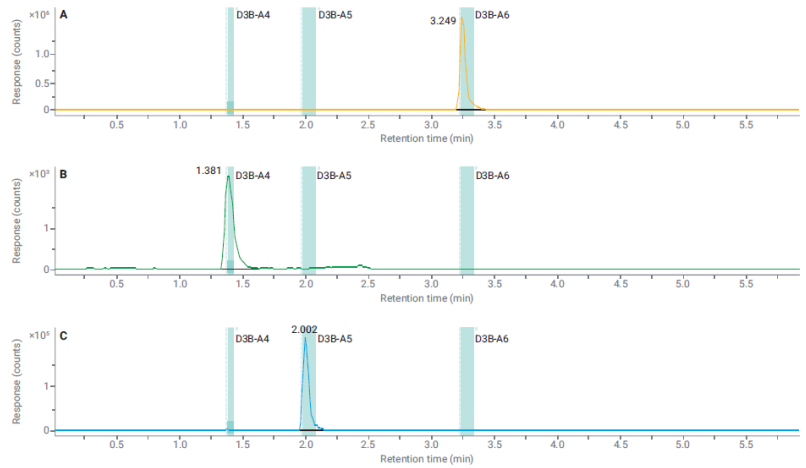
Fraction Collection

Enabled Disabled

UV	MS	1	2	3	4
Peak Triggers MS					
Use		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Peak Detector		G6170A: SG2409FP07	G6170A: SG2409FP07	G6170A: SG2409FP07	none
Used Signal		A	B	NOT	A
Peak Detection Mode		Threshold	Threshold	Threshold	Threshold
Threshold		50000.000 counts	5000.000 counts	171139.333 counts	5.000
Up Slope		5.00 counts/s	5.00 counts/s	5.00 counts/s	5.00
Down Slope		5.00 counts/s	5.00 counts/s	5.00 counts/s	5.00
Upper Threshold		1000000.000 counts	1000000.000 counts	1000000.000 counts	3000.000
Limit Peak Duration		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Max. Peak Duration		30.000 s	30.000 s	30.000 s	30.000 s

Trigger Combinations

AND OR AND/OR GROUP



Walk-up MS のトリガー閾値設定

3 つの異なるトリガー設定で収集した 3 種類の色素の SIM トレース。収集したフラクションを青色のバーで示しています。Y 軸のスケールは異なります。

使いやすいインテリジェンス機能

業務開始時には分析できる状態に。長時間のトレーニングを受けなくてもエキスパートレベルの高品質データを得ることができます。オートチューン、自動取り込み、アーリーメンテナンスフィードバックにより、最大の稼働時間、信頼性の高い分析結果を確保できます。

定期オートチューン

業務開始前に Pro iQ 質量検出器のチューニングとキャリブレーションが完了するよう自動で設定することも、チェックチューンのレポートを定期的に作成するように指示することも可能です。

The screenshot shows the 'Schedule Tune' dialog box with the 'Weekly' option selected. The 'Autotune' section is active. The scheduling is set to recur every 1 week(s) on Monday, Wednesday, and Friday. The start date is 3/31/2025 at 5:00 AM. There are 'Save' and 'Cancel' buttons at the bottom.

The screenshot shows the 'Schedule Tune' dialog box with the 'Monthly' option selected. The 'Autotune' section is active. The scheduling is set to recur every 1 month(s) on the first Monday of every month. The start date is 3/31/2025 at 12:00 AM. There are 'Save' and 'Cancel' buttons at the bottom.

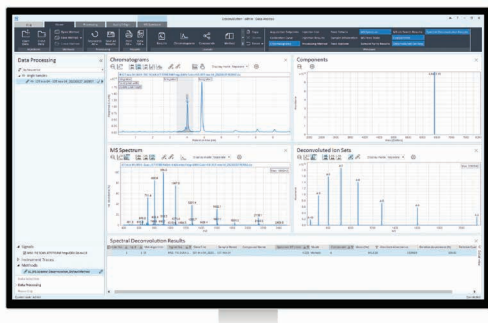
アーリーメンテナンスフィードバック

機器の指標が能動的にモニタリングされるため、機器の状態や正常性を迅速かつ容易に確認できます。

The screenshot shows the 'Maintenance' dashboard with several feedback counters. Each counter has an 'Alert threshold' and a 'Remaining' value. The counters include: Autotune (Alert threshold: 31 days, Expires on 4/1/2025), Checktune (Alert threshold: 7 days), Injection count (Alert threshold: 10000 counts, Remaining: 8383), Divertor valve switches (Alert threshold: 10000 counts, Remaining: 7849), Rough pump (Alert threshold: 365 days, Expires on 2/27/2026), Gas filter (Alert threshold: 365 days, Expires on 2/27/2026), and Detector health (Detector lifetime remaining: 96.1%). There are also indicators for Nebulizer status, Capillary status, and Spray stability status, all of which are shown as green checkmarks.

OpenLab CDS ソフトウェアとの簡単な統合

直感的に操作できるインターフェースと効率的なワークフロー



OpenLab CDS では、データの取り込み、処理、レポート作成を直感的に実行できます。これらはすべて、分子量確認、不純物検出、マススペースの精製のニーズに対応できるように設計されています。このソフトウェアは、自動デコンボリューションによる高速で正確なサンプル特性解析、データインテグリティと規制遵守に対応するための組み込みの技術管理機能などにより、ラボの作業を安心して進められるように設計されています。

包括的なソリューション

分析結果を最大化する消耗品

- **LC カラム**：高分子から低分子まで幅広いアプリケーションに最適なカラムを柔軟に選択
- **LC/MS 消耗品**：Agilent InfinityLab LC および LC/MS 用消耗品により、日々の作業を効率的かつ容易に実行
- **Agilent InfinityLab フレックスベンチ MS**：構成可能な移動式の MS ベンチにより、LC 機器や MS 機器を積み重ねてスペース効率よく活用
- **Agilent InfinityLab 溶媒**：UHPLC および LC/MS 専用に作られた溶媒により、最適な性能を確保し、ダウンタイムと修理を大幅に削減
- **Agilent 静音ボックス**：開けやすくポンプ音を吸収する筐体により静かなラボ環境を確保し、冷却ファンによる温度管理と音声アラームによる温度上限の警告が可能



Agilent CrossLab — お客様は本来の業務に集中

Agilent CrossLab は、アジレントがお客様と連携してソリューションを導入し、ラボの性能と生産性を最適化するためのサービスです。アジレントは、社内の認定を受けた、ラボの生産性向上を専門とする経験豊富なサービス専門家のグローバルネットワークを活かして、お客様が必要なツールを選択し、投資を最大限に活用できるように支援します。

Agilent サービスギャランティ

メーカーを問わず、CrossLab サービスプランの対象機器を修理できなかった場合は、エスカレーションプロセスで、機器の無償交換などにより問題を解消します。*

*適用条件があります。



CrossLab でラボの性能を最大限に活用しましょう

agilent.com/chem/crosslab

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE-010747

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2025

Printed in Japan, November 5, 2025

5994-8793JAJP